

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	さかい保育士就職応援事業				シート番号	014-103	
担当部署名	子ども青少年	局	子育て支援	部	幼保運営	課 評価責任者(課長名)	花田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け	
			施策	1	子育て世帯への支援と負担の軽減	無	
	2	事業開始年度	平成 28 年度		終了(予定)年度	令和 ー 年度	
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市さかい保育士等就職応援事業補助金交付要綱				
	4	関連計画					
5	事業実施の経緯	待機児童解消や、子どもを安心して育てることができる環境整備のために必要な保育士の確保が喫緊の課題となっている中、保育士確保の一環として、潜在保育士等の再就職を支援するため、平成28年度から実施。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市内の認定こども園等へ勤務することが決定した潜在保育士				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	保育士不足の解消を図るとともに、保育サービスの供給体制の安定化を図る。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	市内の認定こども園等へ勤務することが決定した潜在保育士を対象として、1人あたり200千円を上限に、就職準備金の貸付事業を行う団体にその経費を補助する。 令和元年度からは1人あたりの貸付上限額を400千円に引き上げて実施し、さらなる保育人材の確保に努めている。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会					

Ⅲ. 投入量

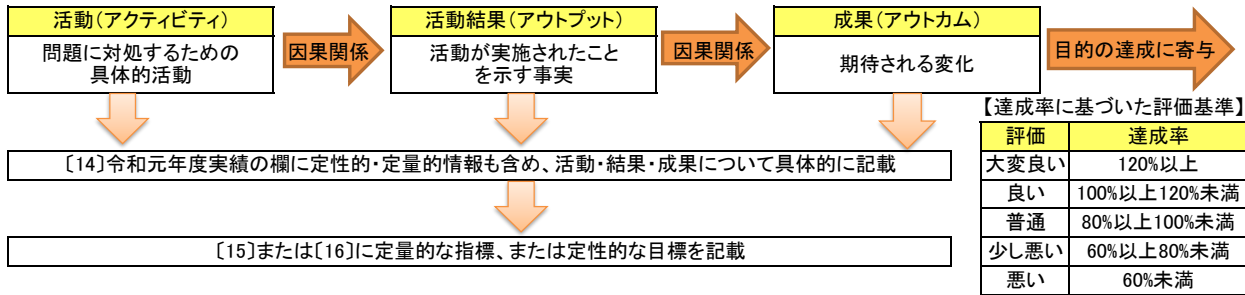
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	4,737	2,310	4,737	2,310	4,737	2,651	4,737	
	主な事業費内訳	補助金	千円	4,737	2,310	4,737	2,310	4,737	2,651	4,737
			千円							
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円		0					
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
その他( )		千円								
	一般財源	千円	4,737	2,310	4,737	2,310	4,737	2,651	4,737	
12	人件費 (b)	千円	1,640	1,640	1,405	1,640	1,620	1,620	1,640	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	6,377	3,950	6,142	3,950	6,357	4,271	6,377	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	さかい保育士就職応援事業	シート番号	014-103
-------	--------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	潜在保育士が本市内の民間保育施設等で保育士や保育教諭として就職する際に必要な資金を貸し付けることによって、潜在保育士の掘り起こしを行い、就職につなげることができた。						
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		申請者数	人	目標値	100	100	50	50
				実績値	9	8	13	13
				達成率	9%	8%	26%	26%
				評価	悪い	悪い	悪い	悪い
	算出方法・設定根拠など		再就職を支援し、保育サービスの供給体制の安定化を図るものであるため。					
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		目標値						
		実績値						
達成率								
評価								

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	申請者数	人	9	8	13	
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,950	3,950	4,271	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	438,889	493,750	328,539	
	備考(算出についての説明等)						
18			区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①						
	②	上記①にかかる年間経費	千円				
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位				
備考(算出についての説明等)							

#### 業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		令和元年度については、目標値を見直す一方で、事業の周知などに努めたが、目標に届くことができなかった。ただ、実績者数については確実に増えており、潜在保育士等に対して貸し付ける就職準備金は、学び直しのための研修受講費や通勤用の自転車、園で使用される被服などの購入に充てられており、2年以上の勤務で返還が免除されることから就職継続にもつながっている。本事業においては、国の補助金事業を活用した上で、実施しているが、他の保育人材の確保事業も含めて、事業の有効性を確認しながら事業を進める。

**【分析のチェックポイント】**

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	さかい保育士就職応援事業	シート番号	014-103
-------	--------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 保育人材の確保のために必要な事業であり、また、2年間継続して勤務した者については、貸付金の返還が免除されるなど規定されており、継続して事業を進めることが求められていることから、廃止できない。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 保育人材の確保のために必要な事業であり、また、2年間継続して勤務した者については、貸付金の返還が免除されるなど規定されており、継続して事業を進めることが求められていることから、休止できない。	<b>休止の場合の再開時期</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 国要綱等で「都道府県社会福祉協議会による実施が望ましい」と定められており、縮減はできない。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 申請等は書類による提出であり、事業実施方法としては、3密を避ける方法となっているため。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	<b>効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□)</b> ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他(                      )	理由・説明	事務は大阪府社会福祉協議会において実施している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	本事業は潜在保育士等を対象に就職準備金として貸し付けており、市内民間保育施設等の保育人材の確保につながっている。また、2年以上の勤務で返還が免除されることで、就労継続にもつながっていることから、継続して実施する。		